



2024 ~ 2025 年度国際ロータリーのテーマ

ロータリーのマジック

●会長 前田日出夫
●幹事 福井 学

No.1867 令和 06 年 07 月 10 日 第 02 回例会



※例会日 毎週水曜日 12:30~

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

※ URL <https://www.serc2720.org> ※ email serc@serc2720.org

■点鐘

■国歌斉唱「君が代」

■ロータリークラブソング

「それでこそロータリー」

(ソングリーダー 古田 哲朗)

■会員 5 分間スピーチ

(古田 哲朗 会員)



古田 哲朗の時間

幹事 古田 哲朗

③心がけていることは何か

*※「言志四録」(佐藤一斎著)から

*三流~本から学んでいる

*二流~人から学んでいる



④どんな仕事をしているのか

- ①民事事件: 交通事故 (相手が東京海上以外)
- 労働事件 (経営者側)
- ②家事事件: 離婚・養育費・遺産分割
- ③刑事事件: 裁判員裁判もする
- ④借金問題: 任意整理・個人再生・破産
- 破産管財人・個人再生委員
- ⑤日型肝炎弁護団員 (集団予防接種)

⑤のまとめ

- *個人的には、本から学んでいることが多いので三流であることを自覚している。
- *最近、歴史のラジオ「コテンラジオ」を聞くようになり、繰り返している歴史の法則等から何かいいヒントを得られないかと模索中 (少しでも一流に近づこうとしている)。
- * (例) 存在が大切だ。
- * (例) 自分のやりたいことを全うすること。
- * 最後まで聞いていただきありがとうございます



■幹事報告

(幹事 福井 学)

■来信案内

1)

熊本中央 RC より、2024 ~ 2025 年度
第 1 回 熊本市域 RC 会長・幹事会の案内。

日時 2024 年 8 月 30 日 (金) 14:30 ~

場所 A N A クラウンプラザホテル熊本ニュースカイ 2 F

「ストリングス」

2)

地区事務所より、第 16 回ロータリー韓日親善会議についてお知らせ。

・2024 年 10 月 24 日 (木)・25 日 (金) 韓国ソウルにて開催

■クラブより

1)

第 1 回定例理事会報告。

2)

次週 7 月 17 日 (水) は休会となっております (祝日が含まれる週)。

7 月 24 日 (水) は開催時間を変更して 18:30 から新年度家族会となっております。

開催日	行事名	場所	会場	出席者
2024年 7月21日 (日)	クラブ活性化ワークショップ	熊本県上益城郡益城町	グランメッセ熊本	前田日出夫、堤埜也、福井学、中島祐齋、松岡泰光、堤埜也、武末直大
7月27日 (土)	第1回米山部門セミナー	熊本県阿蘇市	阿蘇YMCAキャン	宮川義行、山田公也
7月27日 (土)~28日 (日)	米山夏季セミナー	熊本県阿蘇市	阿蘇YMCAキャン	宮川義行、山田公也、巖璋辰

■ロータリー情報

(ロータリー情報担当委員長 松本 繁)

今年度、ロータリー情報担当委員を仰せつかりました松本です。この一年、ロータリー情報の役割を真摯に務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。委員には昨年度と同様、潮谷会員、鈴木



会員、自木会員の 4 人で輪番制にて務めさせていただきます。本日、第一回目は私が担当いたします。

さて、皆様はそれぞれに座右の銘 (常に心に留め、生き方の参考や戒めとする言葉) をお持ちだと思います。私もいくつかの座右の銘がありますが、本日は私のロータリーにおける座右の銘についてお話ししたいと思います。とは言いましても、今まで何度かお話ししたことです。その座右の銘とは、故パストガバナー小田一昭氏 (熊本南 RC・職業、医師) の著書、「職業奉仕の勉強」(1984 年発刊) の中の一節を抜粋したものです。少し長い文章です。「商人は永続的に企業を成功させることが最も重要であり、そのためにはいかなる職業においても信用の獲得が一番大切である。では、信用はどのようにしてできるか。それは相手方の立場に立って物事を考え、決して金銭獲得を直接の目的としないこと。相手方の信頼を絶えず得るように努力していればそれがやがて永年の間に信用の獲得となると考えられるのである。」

かくすることがロータリアンの義務である。即ち金銭獲得の前に自己の義務を置くという考え方、所謂<奉仕=サービス>である。利己と利他との融和―職業奉仕職業を通して人に尊敬される。彼に学べと称えられる。そして職業に関する限り正しく努力して清利潤をあげる。

彼は人格者であったが事業は成功しなかったというのでは人に誇ることはできない。」

私はこの一節を、以前は手帳に、現在はスマホのメモ欄に書きとめ、常に、身につけて自分への戒めとしていますし、これからもロータリアンとして、また、生涯経営者として、この座右の銘を大切に過ごしていきたいと思っています。

■出席報告

(出席・プログラム担当委員 出先教明)



月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率 (%)
06月26日	休会	-	-	-	-
07月10日	41 (免3) 38	27		31	71.05

☆出席免除

07月10日

住江正治 島村徹男 永野昭一

■スマイル

(親睦・スマイル担当委員 松元将潔)

◎山坂哲生

10,000円

中島会長年度おつかれ様でした。前田会長年度の始まりですね。よろしくお祈りします。



◎出先教明

5,000円

今日、買い物をしたらおつりで新5,000円札をもらいましたのでスマイルします。



◎宮川義行

5,000円

熊本東RC 60周年、参加された方、お疲れ様でした。55年、56年、ロータリー歴のメンバーの方がおられるのが素晴らしいと感じました。卓話を聞かせて頂きたいですね。



土曜日は、炎天下の中、「世のため」「人のため」看板取り付け参加の皆さん、お疲れ様でした。新たな社会奉仕運動になりましたね。ポットボトル4本とアイスのお陰で熱中症にならずに済みました。企画、取り組みをされてきた理事のみなさんご苦労様でした。

◎内田信行

3,000円

7月6日、愛光幼稚園での40周年最後の事業の看板取り付け作業、大変お疲れ様でした。4時間30分炎天下での作業で熱中症気味でも頑張っていた皆様にあらためて感謝します。ありがとうございました。



■卓話 新年度方針

◎親睦・スマイル

松田和成 担当委員長

クラブ管理運営委員長 福井学

委員【親睦・スマイル担当】松田和成

山坂哲生 草村安宏 井村宣敏 出先教明 松元将潔 宮國龍乃川崎直樹



1. 活動方針

(1) 親睦

皆が参加したいと思う、親睦行事、

レクリエーションを計画して会員及び会員家族との親睦を図り友好の輪を深めると共にクラブの活性化と向上を図る。

参加して楽しかった、良かったと思える親睦活動にしたいと思う。

親睦活動にあたって、担当委員と相談、計画をして行きたいと思えます。

(2) スマイル

スマイルの意味、用途について理解を得て会員全員が目標を達成出来るよう努める。

例会のスマイル報告は、毎週担当を交代制にして発表する。

(3) 受付

例会時の受付は、基本受付担当委員は、参加すること。

2. 実施計画

(1) 家族会の実施(7月、12月)

(2) 日帰り親睦家族例会の実施(9月)

(3) 慶祝会の実施(6月)

(4) 会員、会員夫人の誕生祝の実施

(5) 結婚記念日のお祝い(生花贈呈)

(6) 新入会員の歓迎会の実施(随時)

(7) レクリエーションの実施(ゴルフ、ボーリング、その他)

(8) 各会員にスマイルの勧誘をお願いする。

(9) 受付は、来訪者を指定席に案内する。

(10) 必要に応じて出席プログラム委員会と連携して夜の例会も企画する。

◎出席・プログラム
片岡貞志 担当委員長



クラブ管理運営委員長 福井学
委員 【出席・プログラム担当】

片岡貞志
山坂哲生 草村安宏 井村宣敏 出先教明 松元将潔 宮國龍乃
川崎直樹

1. 活動方針

○「出席」に関して

ロータリアンの三大義務として

「会費の納入、ロータリー雑誌の購読、そして例会出席」があります。出席は、入会時に受け入れた最も重要な責務であるとともに、例会出席という最小限の奉仕でもあります。

出席不良の原因を確かめて、これを除去するよう努めます。

○「プログラム」に関してプログラムの実施を通じて、いかなる効果を上げているかを検討いたします。各委員会の計画が円滑に実行されるよう考案し、バランスにも配慮いたします。

2. 実施計画

○「出席」に関して

- ・可能な限りの例会出席をお願いいたします
- ・欠席者に対しては、メイクアップするよう促す

○「プログラム」に関して

・各委員会との卓話に関する調整を図り、各委員会が会員に伝えたい話題等を卓話に盛り込んでもらうように配慮します。

・例会の「出席・プログラム報告」は、各週担当者を決め報告します。

○「プログラム」

前田会長の方針により、毎月の2週目以降に「会長の時間」の枠を活用した「会員の時間」と称する発表の機会を作ります。全会員に発表の機会を設けます。

新入会員卓話、委員会卓話など、会員による卓話を実施します。外部卓話では、会員の紹介による卓話、他クラブ会員の卓話など、幅広い内容とし、熊本東南ロータリークラブの今後の活動に活かす。

◎ロータリー情報

松本繁 担当委員長



担当委員 松本 繁
委員 潮谷愛一・鈴木義親・
白木誠一

活動方針

ロータリーに関するあらゆる情報の収集に努め、クラブ会員にその情報を正確にかつ迅速に伝達する。

新入会員にはロータリー会員の特典と責務を把握できるようにきめ細かい情報に努める。

実施計画

1. 例会でのロータリー情報の時間は月初めの例会を除き、委員の輪番制とする。

2. 承認を受けた入会者に対して、新入会のしおり「ようこそわがロータリークラブへ」に基づいてインフォメーションを実施する。

3. ロータリー情報の時間に入会歴の長い会員に“ロータリーと私”というテーマでスピーチをしてもらう。

4. 2025年の規定審議会における重要な決議事項について伝達する。

◎ロータリー財団

(武末直大 委員長) 代理 彌富照皇 委員

ロータリー財団委員長 武末直大
委員 彌富照皇



1. 活動方針

1928年「世界で良い事をするため」の基金として設置されました。

会員の寄付によって成り立っています。

- ・各補助金プロジェクトへの参加
- ・ロータリー財団の支援
- ・ロータリー財団の理解
- ・ポリオデー活動の参加
- ・ポリオプラス寄付の強化
- ・会員増強・公共イメージ委員会など他委員会との活動協力や相互理解

2. 実施計画

・ロータリー財団月毎の報告

・出前セミナーの要請（財団の補助金、基礎知識セミナーを通して理解を促進していきます。）

・PHS（ポールハリスソサエティ）ロータリーカード会員数の増強

毎年1000ドル

・グローバル補助金事業チームの定期会合（国際奉仕、姉妹クラブとの連携）

・他委員会との協力や相互理解を深めるため、分科会を開き連携を図る

題等を卓話に盛り込んでもらうように配慮します。

・例会の「出席・プログラム報告」は、各週担当者を決め報告します。

◎公共イメージ

松岡泰光 担当委員長



公共イメージ委員長 松岡泰光

委員 井村宣敏会員 山本浩之会員

1. 活動方針

ステファニー A. アーチック 国際ロータリー会長の年度テーマは、「ロータリーのマジック」です。

クラブが実践する奉仕事業を中心とした様々な活動を、正確に広報することで「信頼できる団体」としてのロータリークラブの公共イメージを高めます。

2. 実施計画

① マスコミへの取材依頼

奉仕事業等、様々な活動を各種メディアに発信して「ロータリーブランド」を正確かつ、効果的に広報します。



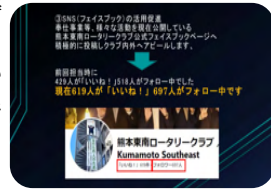
② WEBの活用促進

奉仕事業等、様々な活動をホームページに掲載し一般の方々に向けた情報発信を行います。



③ SNS (フェイスブック) の活用促進

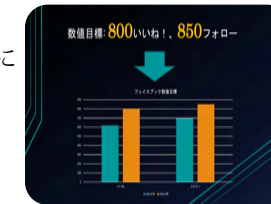
奉仕事業等、様々な活動を現在公開している熊本東南ロータリークラブ公式フェイスブックページへ積極的に投稿しクラブ内外へアピールします。数値目標として現在617人が「いいね!」695人がフォロー中ですので今年度中に【800いいね!】【850フォロー】を目標とします。



* 1カ月に2回=年間24回の投稿を行います。

④ 「ロータリーの友」の活用促進

各活動を「ロータリーの友」へ積極的に投稿しクラブ内外へアピールします。



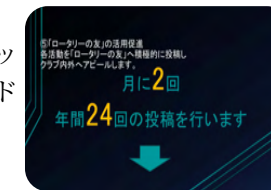
予算希望額

30,000円

(内訳)

印刷代

前々年度、前年度計上されていた、ポケットサイズの顔写真入り会員ネームカードを作成予定です。



40周年記念事業活動報告

(40周年記念事業実行委員長 内田信行 代理 松岡泰光)

7月6日土曜日に40周年記念事業の一環として【くまモン看板】の設置を行いました。



以下はロータリーの友への投稿内容です。

熊本東南ロータリークラブは2024年4月に創立40周年を迎えました、記念事業の1つとして熊本市中央区の【愛光幼稚園】にくまモン看板を設置しました。会員への公募により決定した標語「世のため」「人のため」を掲げた看板を作製し2024年7月6日の午後に各会員のスキルを活用(クレーン操作、外壁塗装・補修)し無事取り付け作業が完了、園児たちの願いを込めた七夕かざりと共演しています。年末にはクリスマスイルミネーションとの共演予定です。



点鐘

(編集 西田 智史)

ポリオ根絶への投資がもたらす大きなリターン

オーストラリアのビクトリア戦略経済研究所によると、WHO 東地中海地域の優先8カ国(アフガニスタンとパキスタンを含む)で今後のポリオ根絶活動を成功させれば、非常に高い投資効果が得られることが明らかになりました。

これらの国々において、ポリオ根絶活動で培ったリソースを維持し、それを予防接種、サーベイランス、緊急対応プログラムに活用することで、経済社会的な利益は合計2,892億ドルに上ると推定されます。この作業にかかる現在の費用は75億ドルであるため、投資効果は1ドルにつき約39ドルとなります。

調査対象となった8カ国(アフガニスタン、イラク、リビア、パキスタン、ソマリア、スーダン、シリア、イエメン)は、保健システムの脆弱さ、定期予防接種率の低さ、政情不安など、さまざまな課題に直面しています。

世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)は長年にわたり、このような国々に対する多大な技術支援と資金援助を行ってきました。根絶が近づくとつれ、予防接種、サーベイランス、感染発生時の対応力を各国で維持し強化するため、長期的な投資が不可欠となります。これは、ポリオのない世界を維持すると同時に、レジリエンス(回復力)を高め、保健体制を向上させるために必要なものです。

WHO 東地中海地域事務局のラナ・ハジェ博士は次のように強調します。「WHOでは、定期予防接種のような重要なプログラムを強化し、ポリオ根絶活動で築かれたリソースを活用できるよう、保健システムを構築することを重視しています」

調査では、費用と、予防接種・サーベイランス・緊急対応プログラムによって救われる人命を予測し、それに基づいて投資を続けることの価値を算出しました。



調査結果は高い投資対効果を示しており、公衆衛生機能を維持・改善することの妥当性を示す強力なデータとなります。また、調査では控えめな見積りを用いているため、実際の投資対効果はさらに高くなる可能性があります。

ロータリーボイスより